

おにぎりたいむ

9月29日(土)に、こどもO-en くらすで地域のボランティアグループ『konohana (このはな)』さんたち協力のもと、『おにぎりたいむ』を行いました。

今回は体験活動と食育を目的として、おにぎりを作りました。台風24号の影響が心配される中ではありましたが、幼児から高校生、そして保護者、スタッフ、総勢36名の参加のもと、にぎやかに行われました。

子どもたちは、「まだおにぎり作らないの～？」と楽しみにしている様子。いよいよ準備も完了し、まずはおにぎりについてのお話です。紙芝居方式でわかりやすく、おにぎりの歴史や作り方について話していただきました。子どもたちは、「へえ～」とうなずきながらよく聞いてくれました。作り方の実演では、子どもの顔ほどもあるおにぎりを作っている様子を見て、「すごい！」と拍手が起こりました。

さて、作り方を教えてもらったら、いよいよ実際に作ります。保護者の方々にも握り方を教えてもらいながら、三角の形にしようと頑張っている姿がなんとも可愛らしかったです。作った後は、グループごとに作ったおにぎりの発表をしました。照れくさそうに、でも嬉しそうに、作ったおにぎりを見せてくれました。

それではいよいよ実食！！食べ方にもこだわりが。「一口目は、目を閉じて30回噛んでみましょう。何を感じるかな？」静かに目を閉じて、しっかり噛んでみると・・・「あまい！」「おいしい！」と、子どもたちはニコニコ。ただの塩握り、されど塩握り。



一人3個、4個と食べる子どももいて、あっという間に3升のご飯がなくなりました。「おなかいっぱいになったよ。おいしかった！」と満足そうな子どもたち。食べ終わるとみんなで片づけをしました。自分たちで考えて机を拭いたり、運んだり、使ったものを洗ったり。よく動いてくれました。

こどもO-en くらすで初めての試みでしたが、子どもたちの笑顔が何より印象的でした。10月は地域の方をゲストに迎えて『鹿児島弁講座』を行う予定です。